

記者発表資料

自然科学研究科 准教授 後藤丹十郎

新規開講科目「ガーデニング入門」に関して

目的

岡山大学農学部附属山陽圏フィールド科学センター（以下センター）提示の教養教育科目として「ガーデニング入門」を平成20年度から新規に開講する。

ガーデニングは、日常生活における「ゆとり」や「心の糧」としての関心が高まってきている。さらに、近年、ガーデニングを利用した園芸療法、園芸福祉が注目されている。

当講義では、花、野菜、果樹、造園分野に属する教員がそれぞれガーデニングに関する講義を行なうとともに、体験的なガーデニング実習を合わせて実施する。また、教育学部附属特別支援学校と協力しながら、園芸福祉活動についても理解を深める。さらに、種苗会社の専門家を招聘してガーデニング用植物に求められる特性と新品種開発現場の実態についての知識を得る。

この講義は、社会教育、福祉教育も含まれる体験型講義として重要な意義を持つと考えており、今後発展的に充実させて行きたいと考えている。

内容

当「ガーデニング入門」は、花、野菜、果樹、造園、育種のそれぞれの専門家が行なうオムニバス講義である。

特に、育種の講義に関しては、世界的に著名な育種会社の育種担当者を講師として招き、世界戦略的に行なわれている花卉の新商品開発に関する講義を聴講し、グローバルな視線を養う。

また、実際の体験実習では、岡山大学の学内環境整備の一貫として、事務局棟前の駐車場の花壇用スペースに、学生自らがデザインした植栽計画に沿って、自分たちで鉢上げした花苗を植栽する。また、センターの圃場を利用して野菜作りを行なう。

園芸福祉に関しては、特別支援学校生と共同で作業を行うことで、園芸福祉現場の実情を学ぶ。